

ペースメーカー・ICD・CRT 実践ハンドブック

Kenneth A. Ellenbogen, Karoly Kaszala(編)

高野照夫, 加藤貴雄(監訳)

伊原 正(訳)

トヨタ記念病院病院長

岩瀬三紀

入門、復習、Step up に最適な 循環器病デバイスの実践書

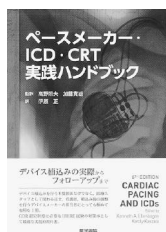
循環器病学における薬物療法は、心不全時に活性化する交感神経系とレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系の薬剤が大規模臨床試験によりその効果が認められ、心不全患者の予後は著しくカイゼンしました。しかし、薬物療法だけでは限界があり、薬物不応の心不全患者も多数おられます。近年、植込み型デバイスによる治療の進歩が著しく、その普及や心疾患患者の予後のカイゼンがますます期待できます。具体的には、徐脈に対するペースメーカー、致死性不整脈に惹起される心臓突然死予防に対する植込み型除細動器(ICD)、治療抵抗性心不全に対する心臓再同期療法(CRT)が代表的なデバイスです。これらの植込み型デバイスによる治療は、多くの患者さんの生命予後のみならず、生活の質 Quality of Life 向上への貢献は絶大です。

不整脈と植込み型デバイスに関する実践的かつ詳細な参考書は、それぞれ個別に専門書を用意する必要があります。両領域を一つの書籍で得ようとする、内容が広く浅くなりがちになります。コメディカルや看護師でも理解しやすく表現されている入門書は雑誌の特集も含め多く存在します。しかし、そのような入門書では専門的な用語が省かれ、根底の基礎理論の理解のためには役不足の感は否めません。

本書『ペースメーカー・ICD・CRT 実践ハンドブック』は、CDR 認定制度に必要な IBHRE 試験対策推薦書であり、不整脈・植込み型デバイスについての知識について、重要な心血管疾患から植込み型デバイスの基礎と原理・機能の章へと展開され、次に実践的な植込み型術の手技の話へと進み、最終的にフォローアップの章から実践的

なトラブルシュートの章へと読者の向学心が燃えさかることが期待されます。内容は専門用語を汎用しており、理解し難い内容になりそうですが、表や図や写真をふんだんに配置し理解しやすくなっており、植込み型デバイスにかかわる循環器医師・臨床工学技士・看護師の入門書としても、ある程度手技に慣れた者の復習書、そして Step up のための最適なハンドブックと自信を持って推薦します。

訳者の伊原正先生は、世界的に屈指の厳格さで有名な Vatner 教授の下、Harvard Medical School にて postdoctoral fellow として、原書の著者の一人である Dr. Bruce Stambler と研究されました。実は私も、Vatner 教授の下で厳しくも楽しみながら研究に切磋琢磨した2年半のボストン留学生活の経験があります。この縁もあり、伊原先生には懇意にいただき、先生の心臓生理学のハイレベルな知識と温厚な人柄にはいつも感服しております。先生は、教育者としても優れ、コメディカル向けの英語教本『Because We Care: English for Healthcare Professionals』(セングージラーニング, 2011)を発刊されています。このように教育に卓越した研究者が訳した本書は、植込み型デバイスに関連の深い心臓生理学の神髄を伝える心のこもった日本語訳であり、われわれに提供いただいたことに深謝します。



●B5/頁 544/2018 年
定価：本体 13,000 円＋税
[ISBN978-4-260-03599-6]
医学書院 刊